



***** ご案内 *****

センシング技術応用研究会第217回研究例会を、下記の通り開催いたします。

研究例会のご参加は事前申し込みが必要です。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催となります。

ご参加の方は事前にURL等をお送り致しますので、下記の申込先に11月15日(月)までにお申し込み下さい。

研究例会参加費：会員 無料、非会員 8,000円

記

日 時 令和3年11月18日(木) 13:30~16:20

場 所 オンライン開催

主 催 センシング技術応用研究会

連絡先・申込先 センシング技術応用研究会 事務局

TEL:0725-51-2534 FAX:0725-51-2597

E-mail:sstj@dantai.tri-osaka.jp

※参加者名、所属、電話番号、メールアドレス(web招待メールの送信先アドレス)をご記入の上、11月15日(月)までにお申し込み下さい。

一 講 演 一

(13:30~14:20)

「2050年カーボンニュートラルに向けた最近の動向と環境省の取組について」

環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 地球温暖化対策事業室
室長補佐(技術総括) 福井 和樹 氏

我が国は2050年カーボンニュートラル宣言を行い、2030年度に2013年度比で46%削減を目指すことを表明しました。国内外で近年、急速に進展する脱炭素化の動向と目標達成に向けた我が国の取組の概要を紹介いたします。

一 休 憩 一

(14:20~14:30)

一 講 演 一

(14:30~15:20)

「温室効果ガスの収支推定のために環境研が取り組む大気観測研究の紹介」

国立環境研究所 地球システム領域 動態化学研究室
研究室長 遠嶋 康徳 氏

温室効果ガス(GHG)の削減を確実に達成するためには、GHG排出量の正確な把握が重要です。本講演では、環境研が取り組むGHG収支評価のための統合的研究の中で、大気観測とモデル解析による排出量評価に関する研究について紹介します。

一 休 憩 一

(15:20~15:30)

一 講 演 一

(15:30~16:20)

「ナノセラミック分離膜を活用したカーボンニュートラル化学プロセスの開発」

イーセップ株式会社
代表取締役社長 澤村 健一 氏

膜分離プロセスはCO₂の大幅削減が可能である技術として期待されており、耐久性に富むナノセラミック分離膜が近年著しく進展しています。本講演では、当該分離膜を活用した各種カーボンニュートラル化学プロセスの開発動向について紹介します。